

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (低)・授業前・導入に動的ストレッチを行うことで、運動に対する意欲向上を図った。
 - ・体づくり運動遊びで、多様な運動遊びを行うことで自分の体の動かし方を知る機会になった。
- (中)・基本動作を取り入れた活動を、ウォーミングアップとして継続して組み込むことで、体の動かし方を意識する児童が増えた。ルーティン化すると、児童も見通しがもて、すすんで活動していた。
- (高)・児童が自分に合った学習課題を見いだせるようにしたこと、課題解決に取り組むための資料や場を工夫したことによって、学習意欲が高まった。

(2) 課題

- (低)・経験不足から、体力テストに対応できるような多様な動きに乏しい。
 - ・自分の苦手な学習に関しては、あまり意欲的に取り組めていないことがある。
 - ・自分の体を起こしたり支えたりする技能や柔軟性、体のバランスをとる動きに課題が見られる。
- (中)・ゲームのルールを守ることができない児童がいたり、必要以上に勝ち負けにこだわったりしてしまうことがある。
 - ・投擲力に関して、正しいフォームで遠くに投げる力に課題がある。
- (高)・児童の体力差や、運動に対する興味や関心の差が大きく、チーム内のモチベーションを上げることがむずかしい。
 - ・ボールを遠くに投げる力に課題のある児童が多い。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・遊びの要素を取り入れた運動をすることで、楽しく多様な動きができるようにする。 ・授業前・導入に動的ストレッチをし、運動に合った動きが高められるようにする。	・動きを言語化して体の動き方を意識することで固有感覚を高め、苦手意識をもつ児童も積極的に活動することができるようになる。	◎適宜振り返りをさせ、がんばったところや楽しかったことを確かめさせ、体育への意欲が持続できるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・簡単な体の動かし方を通して、正しい体の使い方を身に付けられるようにする。 ・準備体操後に、単元の基礎的な運動を取り入れるなどする。	・チームスポーツを通して、勝ち負けにこだわらずに、目標に向かって活動に取り組めるようにする。	◎自分の課題に気が付けるよう、改善点を伝え合う話し合いの場や、上手くいくポイントを共有する場をつくり、めあてをもって活動に取り組むことができるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・技能の高まりや記録の伸びを児童が実感できるようにするために、運動のポイントや目標値を明確にする。 ・遠くに投げる力を高めるために、遠くに投げることに主眼をおいたゲームのルールを設定する。	・児童が互いに助言し合い、高め合っていけるように活動を振り返る場を設ける。 ・チームで練習方法を考えたり、作戦を立てたりすることができるように、ワークシートを活用する。	◎児童が見いだした自己の学習課題の解決に向かって取り組めるように、資料や場の工夫を行う。 ・苦手意識を感じずに取り組めるように、チーム編成や競い方を工夫する。